

トップメッセージ

推進体制

ステークホルダー
エンゲージメントサステナビリティの
歩み

JFRのマテリアリティ

環境の取り組み

社会の取り組み

TCFD提言に沿った
情報開示

社外からの評価

サステナビリティボンド
レポート

データ集

→ マテリアリティのKPIとその進捗

人権尊重

お客様のWell-Being Life

街づくり

地域活性化

人財

ステークホルダーからの声

マテリアリティのKPIとその進捗 ー社会ー

 ダイバーシティ& インクルージョン の推進	2030年 コミットメント	すべての人々がより互いの多様性を認め個性を柔軟に発揮できるダイバーシティに富んだ社会の実現 私たちは、多様性と柔軟性をキーワードに、ステークホルダーすべての人がダイバーシティの本質である異なる個性や視点を大切にし、多様な能力を発揮できる企業をつくりまします。また、多様な個性や能力が相互に影響し、機能し合うこと（インクルージョン）により、イノベーションを生み出し、多様なお客様の期待に応え事業の成長を目指します。			
	背景と考え方	少子高齢化による労働人口の減少が社会問題となっています。JFRグループは、女性やシニア、中途採用など、多様な人がともに働く環境となっています。そのため、マテリアリティをさらに一歩進め「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」として、多様な能力を尊重し、一体性を生み出すことで、企業の競争力強化につなげます。			
	指標	2021年度実績	2022年度実績	2023年度KPI	2030年度KPI
	●女性管理職比率	●21.3%	●22.2% ●女性活躍推進プロジェクト実施 ●女性管理職候補対象「キャリアフォーラム」開催	●26% ●2025年度 30%	●労務構成比と同等の50%を目指す
	●定年延長	●65歳定年導入事業会社（大丸松坂屋百貨店、JFRカード、大丸興業、JFR情報センター）	—	●65歳定年を導入する事業会社拡大	●70歳定年を目指す
	●障がい者雇用率（関係会社の特例範囲）	●2.66%（2021年6月時点）	●2.93%（2022年6月時点）	●2.6%	●3.0%
	●ダイバーシティの企業文化醸成	●LGBTに関する制度（同性パートナーシップ規則、性別移行支援休暇）の制定、LGBT相談窓口の新設 ●LGBTイベントの開催（大丸心斎橋店・京都店・松坂屋名古屋店・渋谷PARCO）	●アンコンシャスバイアスアンケート実施（従業員対象） ●LGBTイベントの開催（大丸京都店・松坂屋名古屋店・渋谷PARCO）	●ダイバーシティ&インクルージョンの従業員への浸透100% ●LGBT等多様なお客様への売場・商品・サービスへの展開	●ダイバーシティ&インクルージョンから生まれる多様な能力の発揮による事業成長の実現 ●多様なお客様への売場・商品・サービスの展開
 ワーク・ライフ・ インテグレーション の実現	2030年 コミットメント	多様性と柔軟性を実現する未来に向けた新しい働き方による従業員とその家族のWell-Beingの実現 私たちは、新しい働き方として、多様性と柔軟性をキーワードにした働き方を促進し、同時に心身の健康を保ちます。これにより、従業員と家族のWell-Beingを実現し、組織の生産性向上につなげます。			
	背景と考え方	ITの進化や、仕事と育児・介護を両立する人の増加、コロナ禍の影響による在宅勤務等の普及など、働き方が多様化しています。JFRグループは、2021年、マテリアリティを「ワーク・ライフ・インテグレーションの実現」に進化させ、従業員が仕事と生活の双方を充実させることに取り組み、企業の生産性向上につなげます。			
	指標	2021年度実績	2022年度実績	2023年度KPI	2030年度KPI
	●育児・介護離職率	●1.4%	●1.8%	●1.0%未満	●0%
	●男性育児休職取得率	●43.6%	●68.0%	●100%	●性別問わず100%
	●働き方	●テレワーク制度の拡充 ●「J.フロントリテイリング健康宣言」策定	●年間休日数拡大 ●年間所定労働時間短縮（大丸松坂屋百貨店）	●いつでもどこでも働ける組織構築への制度・評価の定着	●いつでもどこでも働ける組織による生産性の向上
	●従業員満足度（従業員満足度調査）	—	—	●60%	●80%

トップメッセージ

推進体制

ステークホルダー
エンゲージメントサステナビリティの
歩み

JFRのマテリアリティ

環境の取り組み

社会の取り組み

TCFD提言に沿った
情報開示

社外からの評価

サステナビリティボンド
レポート

データ集

→ マテリアリティのKPIとその進捗

人権尊重

お客様のWell-Being Life

街づくり

地域活性化

人財

ステークホルダーからの声



お客様の
健康・安全・
安心な
くらしの実現

2030年 コミットメント

未来に向けたお客様の心と身体を満たすWell-Beingなくらしの実現

私たちは、お客様の心身ともに健康なくらし、安心なくらしに寄り添う高質で心地よい商品やサービスを提供することにより、お客様それぞれの自分らしいWell-Beingと心豊かなワクワクする未来を提案します。

背景と考え方

コロナ禍を契機に、消費者の価値観や生活様式は大きく変化し、環境や社会課題の解決、健康につながる商品やサービスへのニーズが高まっています。JFRグループは、このような外部環境の変化を背景に、お客様の健康・安全・安心の実現に向け、2021年から新たなマテリアリティとして取り組んでいます。

指標

2021年度実績

2022年度実績

2023年度KPI

2030年度KPI

●エシカル消費

●エシカル商品を扱うショップの誘致

●認証取得した商材を使った商品の販売

●食品安全と環境保全に関する
認証商品の取扱い強化スタート

●ライフスタイル全般におけるエシカル消費の拡大

●心と身体の健康

●医療ウェルネスモール「Welpa(ウェルパ)」をオープン(心斎橋PARCO)
●ショールーミングスペース「明日見世」をオープン(大丸東京店)

●「Think Wellness ～ ココロとカラダに
素敵なマルシェ」(大丸神戸店)
●百貨店初の常設水族館「スマートアクアリ
ウム静岡」オープン(松坂屋静岡店)

●伝統文化やアート、カルチャー
などのエンタテインメント事業の
領域拡大
●ウェルネス事業の立ち上げ

●エンタテインメント事業やウェル
ネス事業の拡大による生活の
彩りの提供と新たな顧客体験の
創出

●サステナビリティ活動に対する お客様の認知度・共感度

—

●66% (お客様アンケート実施)

●30%

●80%

2030年 コミットメント

未来を見据えた安全・安心でレジリエントな店づくりの実現

私たちは、防災や感染症リスク、BCP(事業継続計画)に対応し、店舗のレジリエンスを高めます。また、それと同時にデジタルを活用したオペレーションを構築することで、安全・安心に配慮した新しい顧客接点を創造し、社会の期待に応える店づくりを推進します。

背景と考え方

コロナ禍を経て、感染予防を念頭においた安全・安心へのニーズが高まっています。JFRグループは、安全・安心にお買い物を楽しんでいただけるよう非接触によるコミュニケーションに積極的に取り組みます。

指標

2021年度実績

2022年度実績

2023年度KPI

2030年度KPI

●BCP・防災・防疫

●「JFR新型感染症対応マニュアル」の制定
●催事・ギフトセンターのバーチャル化

●JFR事業継続マニュアル(大規模地震編)に
基づくBCP机上訓練の継続実施

●BCPの高度化と防疫対策の強化
●デジタルを活用したコミュニケー
ションによる非接触での顧客
接点の強化

●最先端テクノロジーを取り入れ、
防災・防疫に対応したレジリエン
スの高い店づくりと、健康に配慮
した快適で心地よい空間の提供

トップメッセージ

推進体制

ステークホルダー
エンゲージメントサステナビリティの
歩み

JFRのマテリアリティ

環境の取り組み

社会の取り組み

TCFD提言に沿った
情報開示

社外からの評価

サステナビリティボンド
レポート

データ集

→ マテリアリティのKPIとその進捗

人権尊重

お客様のWell-Being Life

街づくり

地域活性化

人財

ステークホルダーからの声

 地域と共に	2030年 コミットメント	地域の皆様とともに店舗を基点とした人々が集う豊かな未来に向けた街づくりの実現 私たちは、地域のコミュニティ、行政、NGO・NPOとともに、店舗を基点として、地域資産をいかした持続可能な街づくりに貢献します。 また、地域の魅力を発掘・発信することで、街に集う人々にワクワクするあたらしい体験を提供します。			
	背景と考え方	少子高齢化が進む一方で、都市部へ人口が集中する中、地域の魅力向上や地域活性化が社会課題となっています。また、企業には都市部だけではなく、地方の活性化への取り組みが求められています。JFRグループは、全国にある店舗を中心とし、地域社会とともに地域の魅力向上に取り組んでいきます。			
	指標	2021年度実績	2022年度実績	2023年度KPI	2030年度KPI
	●地域開発	—	●レジデンス事業への新規参入(パルコ) ●名古屋「(仮称)錦三丁目25番街区計画」着工 ●心斎橋「(仮称)心斎橋プロジェクト」開始 ●J.フロント都市開発株式会社設立(2023年) ●「HAB@熊本」開業(2023年)	●文化や歴史をはじめとする地域の特徴をいかした街の魅力向上、街の賑わい創出に資する開発 ●店舗のCSV化(サステナビリティ化)の横展開	
	●地域コミュニティとの連携	●大丸須磨店に「市立図書館」を開設 ●BOOSTERを活用した京都の魅力アップ「みっけ!kyoto」(大丸京都店)	●「Think LOCAL」WEBマガジンスター(大丸松坂屋百貨店) ●「長崎県対馬市 × 九州探検隊」海ごみタイルアートプロジェクト(大丸松坂屋百貨店) ●京都市と包括連携協定締結(大丸京都店) ●熊本県と包括連携協定締結(博多大丸) ●台東区、ローカルフードサイクリング株式会社と「循環型ライフスタイルへの転換に向けた協定」を締結(大丸松坂屋百貨店) ●BOOSTER(クラウドファンディング)を活用した中小企業の販路開拓支援企画開始(パルコ)	●行政、教育機関、NGO・NPOとの連携による地域活性化の推進 ●地産地消などローカルリティコンテンツの発掘・発信による地域活性化の推進	

 地域と共に	2030年 コミットメント	お取引先様とともに創造するサステナブルなサプライチェーンの実現 私たちは、お取引先様とサステナビリティに対する考え方を共有し、共に社会的責任を果たすことを通じて、サプライチェーン全体で持続可能な未来の社会づくりに貢献します。また、お取引先様とともに、サプライチェーンで働く人々の人権が守られ、健康に働き続けることができる職場環境づくりを実現します。			
	背景と考え方	サプライチェーン上で発生する差別や強制労働などの人権問題は、サプライチェーンに大きな影響を及ぼしています。JFRグループは、サプライチェーンに潜むリスクに対応し、持続可能なサプライチェーンの構築を目指しています。			
	指標	2021年度実績	2022年度実績	2023年度KPI	2030年度KPI
	●JFRお取引先様行動原則の浸透	●お取引先様アセスメント実施：回答率40.6%、浸透率60% ●JFRお取引先様行動原則共有(パルコ)	●お取引先様との対話の実施(大丸松坂屋百貨店)	●アセスメントの回答率80%、浸透率25%	●アセスメントの回答率95%、浸透率100%
	●人権	●人権アセスメント実施 ●人権リスクの特定	●人権リスクの見直し ●人権教育の実施(パルコ・大丸興業 2023年)	●人権デューデリジェンスの取り組み拡大 ●従業員への人権教育実施率100%	●お取引先様と従業員の人権が尊重される事業活動の定着

地域社会との
共生サプライチェーン
全体の
マネジメント